



KAMEDAJIMA

「はにかむエブリデイ」 亀田の郷の縞だより

「はにかむ」=しよしがり(はずかしがり)な亀田の人々、「ハニカム」=自然界に存在する丈夫で美しい亀の甲羅の構造。

強く優しい亀田縞と、この地にくらす人々をイメージしています

令和6年

010

亀田縞利用促進協議会



Person

まちの駅 亀田の郷

スタッフの皆さん

人が行き交うくらしの基点 まちに寄り添うステーション

交通量が多く、ともすると見のがしてしまいうような亀田駅前通りの小さなお店。開店早々からお客さんが入れ替わり訪れ、いそがしい一日がはじまりました。

地元の食材や町の特産品を取り揃える「まちの駅 亀田の郷」は、地域活性化を目的に、事業主たちが出資して平成16年にスタートしました。店頭には、農家の朝採り野菜や、人気カフェの薫り高いコーヒー、まちの名物菓子、割烹による手作り総菜などが並ぶほか、福祉作業所に仕事を依頼して雑貨を作ったり個人の趣味のハンドメイド製品も預かるなどバラエティ豊か。「まちの駅」の名のとおり、様々な人が、思いの目的で交差する、生活の基点といえるスポットです。

そういえば、前に立川織物がこのお店の事を「うちが今の形で亀田縞をやっている」と決めるきっかけになった店なんだよ」と話してくれたことがあります。

まちの駅開店の頃、立川織物は、いつかこの先亀田縞をどう進めていけばよいか五里霧中、試行錯誤の毎日でした。そんなある日この代表から、「この店で布

だけをたくさん買ってもらうのはむずかしい。売れる製品は何かを考えてほしい」とアドバイスももらい、それをきっかけに縫製できる人を探し、その縁で今につながる仲間やパートナーにも出会い、自分たちのあり方「亀田縞を土産品として安売りすることなく、時間がかかっても売れる上質なものが育てたい」と目指す道が開けたのだそう。

それから20年。今、まちの駅には2社の機屋の亀田縞製品が揃い、4名のスタッフはそれぞれお気に入りの亀田縞のエプロンを身につけ、優秀な営業ウーマンぶりを発揮しています。お客さんとの会話から似合いそうな柄柄を選んで広げると、鏡の中はたちまち笑顔に。そうしてオーダーを受け、意見や感想など伝えて機屋に繋がります。

今日も店内は目まぐるしく、なのにどこかのんびりと時間が流れています。それがまちの営みに寄り添って人々の日々小さな幸せを運ぶ、「くらしの最寄り駅」が持つ「包容力」なのかもしれません。



- 1.この日かっぱを着て買いに来た女性はスタッフと相談しながら楽しそうに布を選んでいました。どうしても、と西区から息子さんの車で訪れたのだそう。
- 2.朝採り野菜は農家さんが交替で持ち込む。梨や柿などのフルーツや、銀杏やかきのもとといった旬の食材、かわいい花々。豊かな気持ちになるものばかり。

特集

江南区郷土資料館でみつけた 亀田縞のルーツワールド

江南区郷土資料館では「郷土の水と人々の歩み」をテーマに、亀田郷の歴史やこの地独特の民具の展示など、歴史民俗資料が集結しています。手織り時代の亀田縞を知ることができるコーナーは特に興味をそそられます。



展示ブースでは町の成り立ちや、人々が洪水などに苦しめられながらたたかってきた、亀田郷とは切っても切れない歴史をリアルに学べます。過酷な暮らしに想いを馳せると少し重い気分になります。しかしそんな中、人々の毎日を支えてきた生活道具は生き生きと存在し、亀田縞のある暮らしが色鮮やかに輝いています。

かつて綿が採れる北限の地だった亀田郷では、秋に綿花を摘み、田んぼや畑が休みになる冬期間の仕事として、糸を紡いで反物を織り、自分たちの仕事着を作り、その後は産業として活躍した時代がありました。展示物から昔の亀田縞ができるまでに触れてみましょう。



【野良着(のらぎ)】

農民の仕事着。上着を着てその上からズボン(もんぺ)を履く。芦沼に腰や胸まで浸かりながら作業する亀田郷の田んぼ仕事は泥だらけどころか、朝入ったら夕方まで出られない過酷なもの。だからこそ丈夫な野良着が必要だった。首のところに藍が染み出ているこの野良着は元々深い藍色だったと想像できる。

民具で知る むかしの亀田縞ができるまで



-POINT!-
種は来年畑に撒き、
綿は布地になる

STEP 01 綿繰り

摘みとった綿花から種を採る。「綿切りロクロ」の歯車の手前から綿花を入れハンドルを廻すと歯車の手前に種が落ち、向こう側には綿が分かれて出てくる。



-POINT!-
この作業を
何度も繰り返しながら
細い糸を作り出す

STEP 02 糸紡ぎ

綿は糸車を使って糸にする。糸車の先についた鉄の針状のツムに綿を引っ掛け糸車を廻しながら綿を伸ばし、回転力で糸にヨリをかける。

STEP 04 糸を木枠に巻く

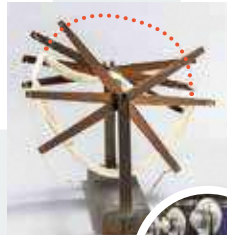


染めた糸を経糸と
緯糸に分け糸にコシ
をつけるため糊付け
し機枠に巻き取る。

-POINT!-
染めた糸を木枠に巻く

STEP 03 糸染め

糸を煮てヨリ止めたあと熱湯に染料を入れた液で糸を藍に染める(かせ染め)。



-POINT!-
現代の亀田縞も
糸から染める
先染めです

現代はこう!

はにかむ機屋だより

機屋で布を選ぶとき、多くの中から一枚選ぶのは楽しくもあり悩みどころ。そこで代表の一枚を教えてくださいました。※縞幅は原寸ではありません。布選びのご参考にしてください。

中宮機業(有)

新潟市江南区曙町 1-8-18
TEL.025-381-5163

大正12年創業。縦織で織り進めるため丈の長い浴衣や着物なども得意。亀田縞の素朴で優しい風合いを生かし、綿、ちぢみ、綿麻、ガーゼなどバリエーション豊富。

最近の新しい布から中心に選んでみました。私も気に入って着ている洋服の布地が多くなったかしら。

中林 恵利子 さん



今月の テーマ

定番人気・おすすめの 縞柄ご紹介

立川織物

新潟市江南区袋津3丁目1-52
TEL.025-381-3067

迷路のまち、袋津の一角にある明治17年創業の機屋。横織で織り進めるのが特徴で、通常の亀田縞より粗野感のあるための糸で織りあげる。スベック染を行う。

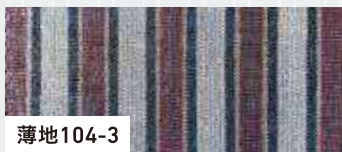
わが家の4種のクオリティから、いつもお客様と直接対応している妻が定番人気を選びました。

立川 治秀 さん



普通地27-0

27番は一番新しい柄で0は白ベースの明るい色。私は毎日この縞で作ったサコシェを下げている仕事しています。



薄地104-3

薄地はシャツやブラウスに似合います。これは紫がポイントで男女ともにお好きな方が多いです。



綿麻CL5-1

綿50%麻50%の亀田縞。麻は上級のリネンを使っていますがチクチクしないので気持ちよい、雰囲気のあるシワの表情がです。



ちぢみ26-6

華やかな色のちぢみを作りました。夏の爽やかなワンピースや着物にどうですか。ピンクやワイン色も。



普通地12-a

グレーベースにかすりが入った縞柄。柿色がポイントになっている定番の人気品です。



薄地112-a

スベック染めのちらちらした感じが独特な風合いをかもし出します。



キャッチワッシャー BL-9

夏に涼しいシワ加工。ちぢみの効果でストライプに表情が生まれます。アイロンはかけないでね。



太糸 M0-チャコール

今年新発売したいちばん厚手の布地です。太糸と細糸の組み合わせで色に奥行きが生まれました。

木のぬくもりや、大小の歯車がかみ合つてキコキコ動くのがおもしろくて、「手仕事って楽しそう、ほっこりするー」などのんきに民具を眺めていたのだけど、これらはすべて

見学を終えて

人力でまかなう真冬の仕事なのだから気が遠くなるたいへんな作業だ。現代は機械化で複雑な色柄が織れるようになったけど、機織りの原理は古今東西、太古の昔から変わっていないのだから、昔の知恵ってスゴイ。昔の人ってえらいなあ。



【道中合羽(どうちゅうがっぱ)】
色濃い藍染めが美しい合羽(かっぱ)は、旅人が雨風を防ぐため羽織ったマント(外套)。袖はなく肩にかけて着るもので現代のトラベルウエア、レインコート。今着てもシブカッコいい縞模様。藍染めは吸湿に優れ殺菌効果がありヘビが近寄らないともいわれた。糸を強くする役目もあったのだとか。



江南区郷土資料館

- 住所/新潟市江南区茅野山3-1-14 江南区文化会館内
- 電話番号/025-382-1157
- 時間/10:00~19:00(日祝は17:00閉館)
- 休館日/金曜、年末年始 ■入館料/無料

常設展示のほか令和7年1月30日まで「昔のくらし展2024」を開催中。気軽に遊びに来てください。



小島館長

豆知識

数字で知る昔の亀田縞 (郷土資料館の資料より)

- 一反→約1000平方メートル→約300坪
…約50mプールやバスケットボールコート2面分の大きさ
- 一反の綿収穫量
→約二百匁(もんめ)…750g
- 一反(36cm×12m)を織り上げる時間
→上手な職人で2日位

資料提供:江南区郷土資料館

STEP 09 機織り

おさ通した経糸を織機の手前の布に固定する。左右の足で踏みながらそうこうを上下させ、その間に杼を使って緯糸を一本ずつ入れて織り上げる。



STEP 08 おさ通し

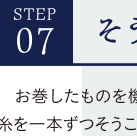
そうこう通した糸を機手前のクシ状のおさに通す。ヘラを使い順序を間違えないように丁寧に通す。



現代はこう!

STEP 07 そうこう通し

お巻したものを機の先端に取り付けて糸を一本ずつそうこうに通す。



STEP 06 お巻き

このあとの製織作業で糸が絡まないよう、間に紙を入れながら糸を巻き取っていく。



現代はこう!



STEP 05 整経

木枠に巻き取った経糸を使い手整経機の凸棒に一定の長さで柄組しながら巻き付けていく。



現代はこう!



NEWS & INFO

新商品やイベントのお知らせ、プレゼントなど地域の情報を随時募集中!
内容の問合せはすべて亀田縞利用促進協議会広報部へ。

冬季限定のお楽しみ 白鳥に出会える朝市

10月~2月の月一回、佐潟水鳥・湿地センター脇デッキでは朝市を開催。採れたて野菜を購入できパンやホットコーヒーを味わえる。本年度は12/14、1/18、2/8の7時~10時開催予定。白鳥を転写した亀田縞のタペストリーを目印に足を運ぼう。



Instagram▼
@SAKATADEASAITI



たくさんの綿を収穫 綿の畑まいを行いました

晩秋の週末、早通小学校近くの綿畑で綿の収穫を行った。ここは毎年亀田縞応援隊が綿を育てている活動の源といえる場所だが土地の事情から今年で終了となり、来年からは亀田中学校の畑が中心となる。誰でも気軽に参加できるのでぜひ種まきや摘み取りを体験してほしい。



ガイドと一緒に袋津を巡る お手軽な秋の散策ツアー

9月15日(日)袋津のまちあるき「袋津三昧」が開催された。ガイド付きで迷路のまちを巡り、お土産付きで参加費1,000円とリーズナブル。回を重ねるごとに予約がむずかしくなっている。3コースから選べ、工場見学やお酒の試飲、特設ショップで買物もできた。次回もご期待。



世界遺産の登録で勢いが加速する 新潟市を愛するサポーターの集い

新潟市の魅力を国内外へ発信しようという交流を深める「新潟市サポーターズ倶楽部」。今年も「新潟市サポーターズ・グランドパーティ」が開催され、坂井江南区長が区のPRに努めた(8月6日(火)ホテルルポール翹町にて)。佐渡島の金山が世界遺産に登録され今年はいっそう熱く盛り上がった。



旅のプロによる企画に定評あり 江南区のいいところ深堀りバスツアー

11月11日(月)旅行会社ハミングツアーによる江南区めぐりの旅が開催された。プランニングを得意とする旅のプロによるバス旅とあり各地から参加者が集合。北方文化博物館や亀田縞の機屋などを見学し、秋が深まりゆく江南区の歴史と自然、伝統工芸品を楽しんでいた。



ハンドメイドファンは注目

画期的な亀田縞の裁縫キットが登場

コロナ以降、ハンドメイドが流行中。年代、性別を問わず、クッキングからDIYまで、自分で作って楽しむ人が急増中。今回は亀田縞のソーイングキットを紹介しします。

ソーイングキット「SEESEEW(シーソー)」は、裁縫が好きな人にも、初心者さんにもおススメしたい亀田縞オリジナルアイテム。そのまま使える原寸大の型紙と、亀田縞の布地、ゴムや芯などパーツ、縫い方レシピがまるごとセットになっているので、あとはミシンを出してスタートするだけの楽ちんセット。「SEESEEW」見て縫える「のネーミングどおり、わかりやすい手描きの指示書を見ながら、まるで個人レッスンを受けているように自分のペースで始められます。デザインは全部で13種類を用意、ワンピースやスカート、エプロン、パンツなどから選べんで楽しめます。

また、特筆すべきは、特注の亀田縞布地を採用している事。パッチワーク作家でNHK「素敵にハンドメイド」講師としても知られる斎藤諺子さんがデザインした、彼女の代名詞でもあるトープ調の独特な色柄で布地を織りあげました。いつもの亀田縞が好みなら、希望の布地に変更できるので、よりオンリーワンのハンドメイドにチャレンジを。

公式オンラインショップ / <https://kamedajima.stores.jp/>

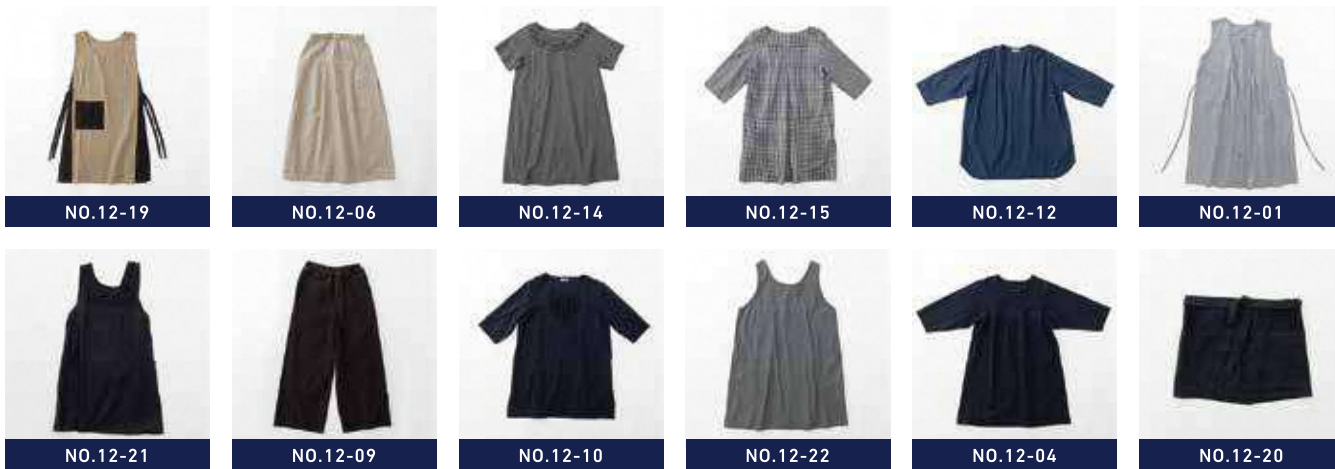


亀田縞
オリジナル
ソーイングキット
SEESEEW

▲好きな亀田縞に変更できる画期的なハンドメイドセット。6,600円～13,000円

【セット内容】

- 斎藤諺子さん考案オリジナル亀田縞布地
- 原寸サイズの型紙(S～Lサイズ対応)
- 作り方レシピ
- ボタンや芯などのパーツ



We're here! 亀田の郷の縞だより設置スポットをご紹介します

いつも亀田縞を応援いただき誠にありがとうございます! 本紙の置き場についてご質問をいただくことが多いのですべての設置場所をご案内します。Webも随時更新するので出先でも参考にしてください。亀田縞はいつも皆さんのおそばに。常に気になる存在でいられるように頑張りますので応援よろしくお祈りします。



■亀田縞公式Instagram ユーザー名 / @kamedajima_kamedajima | ■江南区ホームページ ▶

■行政の施設

新潟市の各区役所、江南区内の各出張所・連絡所

■江南区の施設・お店

亀田総合体育館、横越総合体育館、江南区文化会館、亀田図書館、江南区郷土資料館、亀田市民会館、亀田地区コミセン、曾野木地区コミセン、亀田駅前交流センター、亀田商工会議所と新潟こうなん商工会、曾野木商工会、はばたき信用組合本店・稲葉支店、アビタパワー新潟亀田店、イオンモール新潟亀田インター店、(一財)北方文化博物館、まちの駅亀田の郷、片山商店、あけぼのクラブ、雪国科学(株)、Bakery MAA、まちなかカフェふれ〜る、大地、気楽市、採彩、グレープハウス、(有)小島屋酒店、メンズレディースショップはしため、立川洋品店、えんではよこごし、miizヘアサロン、新し屋酒店、横雲荘、伊藤純一アトリエ、(株)土田組、花のきむら、カメダジマストア、立川織物、中宮機業(有)、亀田繊維工業協同組合、(有)ケイティシー

■江南区外の施設・お店

新潟市美術館、新津美術館、新潟ふるさと村、新潟空港、新潟市ホテル旅館協同組合会員、日本赤十字社、道の駅花夢里にいつ、道の駅たがみ、P.K.C+パクチャープラス、和gen、銀座・新潟情報館 THE NIIGATA(東京都中央区銀座5)、ブリッジにいがた(東京都中央区日本橋室町1)、ONLY FREEPAPER TOKYO(東京都目黒区中目黒3)、藍と絹のギャラリー工房徳元(東京都台東区谷中6)、新潟をこめ(大阪市北区小松原町梅田地下街4) (順不同)



江南区役所



アビタパワー新潟亀田店

江南区役所1F入口左手のエレベーター前、2Fのラックにはバックナンバーも。アビタパワー新潟亀田店はキャッシュコーナー入口前。



KAMEDAJIMA

江戸時代後期、当時日本最北の木綿栽培地だった新潟県の亀田郷で、腰まで泥につかる過酷な米作りを支えるため、丈夫で汚れに強く、しかも美しい縞柄の綿織物「亀田縞」が誕生しました。大正期にかけて全盛期を迎えた亀田縞は、時代の変遷で一度は途絶えましたが、消滅から半世紀を経て、現在も残る2軒の機屋により復活しました。従来の素朴であたたかい風合いと丈夫さに加え、特色である独特の肌ざわりのよさ、現代生活になじむしなやかさを兼ね備えた布として注目されています。



提供: 亀田郷土地改良区 / 撮影 本間喜八氏



はにかむ 編集後記

すっかりと寒くなりあつという間の冬支度になりました。今年は「暑」この一言でした。人生史上の暑さを毎年更新していますが、いつまでも暑かったですね汗。さて今年は大谷選手フィーバーの1年でした。史上初の50-50、ワールドシリーズ優勝などなど。たくさん観るので亀田縞の紺までドジャーブルーに見えてくるような(笑)。冗談はさておき、来年はへび年です。亀田縞も蛇のように長く永遠に受け継がれるよう精進して参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。(スタッフA)

亀田の郷の縞だより はにかむエブリデイ010

- 発行: 亀田縞利用促進協議会 / 亀田繊維工業協同組合
〒950-0134 新潟市江南区曙町3-6-1 TEL.025-381-4105 公式サイト <http://kamedajima.net/>
- 発行日: 2024年11月30日 ■企画編集: パクチャープラス 佐藤洋子 酒井祐介 石井達

Blogも更新中!

亀田縞通信はにかむエブリデイ
<https://kamedajimashimashima.jimdofree.com>

情報、投稿
ご意見はこちら

Instagram | @kamedajima_kamedajima Facebook | 亀田縞-kamedajima

